■清須市第2次総合計画に基づくマネジメントサイクルにおける外部評価のあり方について

- 1 これまでの行政評価の取り組み
- (1) 各計画等での位置付け

名 称	内容
清須市第1次総	計画の中期的な見直しとは別に、より 効率的に経営資源を配分する仕
合計画〔改訂版〕	組みとして機能するよう行政評価を活用し、その結果により各施策・事
	業の適切な進捗管理 を行っていきます。
清須市第2次行	効率的な経営資源を配分するため、行政評価を活用し、各施策・事業
政改革大綱・集	の適切な進捗管理を行っていくこととします。
中改革プラン	総合計画に列挙した各施策・事業が所期の成果を挙げているかどうか
	を定期的に点検 するとともに、その点検結果をもとに見直しを行い、計
	画策定 (Plan) から実施 (Do)、評価 (Check)、改善 (Action) のPDC
	Aサイクルを確立 します。

(2) 施策・事業評価等の実施

事業目的に照らした内容の妥当性、費用対効果等の観点から、**各施策・事業が適切に実施されているかを確認するため、施策・事業評価シートを用いて、所管課による内部評価及び外部評価(外部からの意見聴取)を行った。**

また、市政に関する市民の意向を把握し、市の取り組みに関する満足度・重要度を統計的に整理することで、市民の意見や提言を今後のまちづくりに反映させることを目的として、市民満足度調査を隔年で実施している。

年度	項目	外部評価(外部からの意見聴取)の方法・視点
	方法	○ 行政改革推進委員会の委員 2 名 (会長・有識者委員) による施策・事業担当課に
		対するヒアリング方式
		○ ヒアリング対象の施策・事業については、庁内調整に基づき、各部局から1つ選
H24		定(計6施策・事業)
	視点	○ 担当課が行った内部評価に関して、「市民感覚と乖離していないか」、「現状を肯
		定する甘い評価になっていないか」、「事業の内容等を分かりやすく説明している
		か」などの観点から検証し、内部評価の客観性と評価内容の透明性・信頼性を確保
	方法	○ 行政改革推進委員会の全委員による施策・事業担当課に対するヒアリング方式
		○ ヒアリング対象の施策・事業については、意見聴取者の関心・希望に基づき、各
H25		部局から1つ選定(計6施策・事業)
	視点	○ 担当課が行った内部評価に関して、当該施策・事業の必要性・有効性・効率性、
		今後の方向性の説明が適切・妥当であるのかを中心として聴取
	方法	○ 行政改革推進員会の委員を外部からの意見聴取者として、書面による意見聴取
H26		(対象は内部評価を行った全施策・事業)
	視点	○ 担当課が行った内部評価に関して、当該施策・事業の必要性・有効性・効率性、
		今後の方向性の説明が適切・妥当であるのかを中心として聴取

(3) 課題等

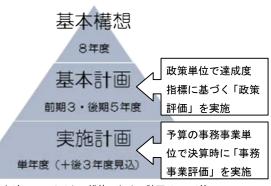
施策・事業評価は、毎年度、実施方法等の検証を行ってきたが、次の課題が挙げられる。

①施策・事業評価の	単年度のPDCAサイクルの中で、施策・事業評価をどのように活
活用	用するのか不明確となっている。
②予算事業単位との	施策・事業評価の実施単位が予算の事業単位と異なるため、予算編
整合	成等への活用が難しい。
③外部評価 (外部か	各課が自ら行った事業の必要性や有効性等の評価が適切・妥当であ
らの意見聴取)の	るかの評価を行っているが、評価への意見聴取であるため、外部の
あり方	意見が具体的な施策・事業に反映しづらい。

- 2 第2次総合計画に基づく行政運営の推進(マネジメントサイクルの構築)
- (1) 第2次総合計画の策定方針(抜粋)

※第1回総合計画審議会(H27.9.29) 了承

- 第2次総合計画については、長期的な視点に 立った目標の実現に向けた政策・施策・事業を 最適に展開するための、行政運営マネジメント の基軸とする。
- 行政運営マネジメントの基軸として、より実 効性のある計画とするため、「基本構想」 - 「基本計画」 - 「実施計画」の三層構造の計画とする。



(2) 基本計画のマネジメントサイクル

〔マネジメントサイクル構築のための計画イメージ〕

- 政策単位で「政策の目指す姿」を掲げ、その達成状況を数値で評価するための指標 (「達成度指標」)を設定し、達成度指標に基づく「政策評価」を一定間隔で実施する。
- 「達成度指標」については、アウトカム指標を捕捉するため、**必要に応じて、**現在 実施している「市民満足度調査」に加えて、**「達成度指標」を捕捉するための市民ア** ンケートを実施する。

例:政策	達成度指標
公共交通の充実	市内移動の利便性が高いと思う市民の割合

- (3) 予算編成と連動した事務事業評価の実施
 - 毎年度の予算編成に活用するため、**予算事業単位ごとに事業の進捗度・必要性・効率性といった観点から自己評価を行い**、事業担当課はこの結果を踏まえて、翌年度の 予算要求を行う。

例:事務事業	事業の進捗度を図る指標
コミュニティバス運行費	コミュニティバスの1便当たり利用者数
レンタサイクル費	レンタサイクルの1日当たり利用者数

〔第2次総合計画におけるマネジメントサイクルのイメージ〕

